

立石工務店 時代に合わせ工事内容転換

改修工事などを手掛ける立石工務店(本社名古屋市中緑区文久山1-137)の創業は1902年。創業時の造作工事(建物内部の下地を作る工事)から戦災や伊勢湾台風を受け復旧・復興のため型枠工事へ。そして、現在の改修工事に転換した。時代のニーズを読み解き、成長を続け、今年で120年を迎える。現在は多能工職人を育成する事業にも力を入れている。

(中村光希)

変幻自在

老舗企業の挑戦

創業の造作から型枠、改修へ



創業時代に作業員が使用していた法被

多能工職人を育成・派遣 新事業 成長の歩み着々



施設の施工例

設の改修工事の需要が増えるとの助言を得たことがきっかけだった。

それまで取り組んでいた型枠工事には関わる作業員が多く、道具をスツックする場所が必要になるなどの課題があった。また、新築工事の流れはコンクリートから鉄骨に移っており、改修工事への移行は同社にとっても次の成長のための良い機会だった。

創業時は寺社などの造作工事を担っていた。造作工事から型枠工事に移行したのは3代目・鎮雄の時代だった。

2代目・鋼之輔の時代に空襲などの戦災が、3代目の時代には伊勢湾台風が建物を襲い、65年ごろに復旧・復興工事の需要が高まった。

当時、それまでの木造から新しい技術を使ったコンクリ



立石浩一社長

ート造りの建造物にニーズが移り、同社もそれに対応。コンクリートを成型する型枠を作り、組み立てる型枠工事に主力業務をシフトしていった。

復旧・復興工事の需要も一巡した75年ごろ、改修工事に移行した。創業時から協力してきた竹中工務店(本社大阪市)名古屋支店の所長から、戦争などを機に建て直した施

ただ改修工事は新築工事とは違い、建物の中に職人以外の人がいる状態で工事を行うため、大きな音をたてない技術など新たな工事ノウハウが必要だった。そこで当時の次期社長である浩一氏は約6年、竹中工務店に出向し、改修工事の技術を持ち帰った。

2000年に浩一氏が4代目社長に就任し、現在まで改修工事に特化した営業を続けてきた。

立石社長は創業125年となる5年後に社長交代を検討中だ。次期社長の立石晃太専務は子会社を立ち上げ、多能工職人を育成・現場派遣する事業を行っている。今後、工事職人育成のプラットフォーム設立をにらみ、新たな成長に歩みを進めている。

立石社長は「長年のノウハウを生かし、これからも施設の不便な箇所を使いやすくする工事に力を入れていきたい」と話した。

家族で始める！
若者&子ども
支援
岸田久恵 8

「よかったら、これ飲んでください。いつもふらっと立ち寄って、ペットボトル飲料を差し入れてくれる近所の人がいる。つえを突きながらお菓子を届けてくださる年配の女性もいれば、チャリティコンサート収益を毎年寄付してくれるグループもある。

大した経験もないまま、退職金や夫の貯金までつき込んで始めた、若者や子どもへの支援活動。「向こう見ずな」と思っていた人もいたに違いないが、何とか10年間続けられたのは、名前も知らない方も含め多くの人が背中を押してくれたからだ。「力を貸してくれる人がこんなにいるんだ」と何度励まされることがか。

ボランティアの存在も大きい。いつも手作りの料理の一品を届けてくれる

やるからには1人でも



無料塾のボランティアとして理科の実験を披露する元中学校教員(左端) 12016年 東京都西東京市のNPO法人「猫の足あと」のシテアハウス

思いに背中押された

それにしても私は、自分が暮らす地域のことを何も知らなかった。仕事をしていた頃は、職

人、無料塾で勉強を教える大学生や元教員、夏休みの工作教室を手伝ってくれた大工さん……。さまざまな出会いに恵まれてきた。

生労働省および愛知県の認可を受けた元受共済事業です。県内に住んでいるかまたは勤務し、申込書の健康告知事項に該当しない0歳から74歳までの方

ご提案例

家族4人合計で
月々の掛金 **3,000円** の場合

月掛金 500円 (8歳)	月掛金 500円 (10歳)	月掛金 1,000円 (41歳)	月掛金 1,000円 (43歳)
----------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------

「がん」に備える!

東京海上日動の
がん治療応援保険
(正式名称: 団体総合生活保険)

45歳~49歳間 50万円コースの場合

団体割引適用
月々 **580円**

「地震」「風水災」「火災」に備える!

東京海上日動の
トータルアシスト 住まいの保険
(正式名称: 住まいの保険および地震保険)

住まいの保険 + 地震保険